



敷き詰めたチップで 歩きやすい散策路に

7月に笹内川流域の流倒木を回収した深浦校生。紅葉も終盤になった十二湖で、歩きやすい散策路として観光客を呼び込もうと、好評のウッドチップを敷き詰めました。



①県をまたいで西海岸3町の観光協会が連携して行っている「あみ引き合戦」。対戦成績4勝4敗で迎えた最終決戦は2勝1敗、通算成績6勝5敗で青森県が勝利！観光的県境は「お殿水」から「あきた白神駅」まで南下した

②活きが良く、ようやく捕まえたサケ。滑るし、重いしこれ以上はもう限界!?

③チケットが完売する人気の大漁引き。3本のメスサケを引き当てたお母さん、あまりの喜びように、隣のお父さんもちょっと苦笑い

④、⑤「風の会」と深中生の北前太鼓。同じ「轟」でもアレンジの違いで、太鼓の配置も曲の印象も全く違う曲に

⑥ネプタ囃子に合わせて優雅に舞うねぶた踊り普及会

⑦口説き盆踊りを披露する大戸瀬連合婦人会

⑧、⑨毎年コラボ演技を見せる白神黒龍IWASAKIと忍者集団神龍

⑩会場を盛り上げた深浦マグロボーイズ&バックダンサーズ

⑪県内のネプタ囃子を披露した担ぎ乃会(鱈ヶ沢町)



見て聞いて匂いで



サケを味わおう



豪快！
熱々のサケを堪能

サケの消費拡大と町の観光振興を目指してスタートした「チャンチャンまつり」。深浦の秋の風物詩となったサケのチャンチャン焼きを今年も味わおうと、10月18日・19日の2日間、多くの行楽客が夕陽公園を訪れました。

「チャンチャン」については諸説いろいろありますが、かつて地元の漁師が北海道の漁場に出稼ぎに行ったときに、親方に見つからないよう「ちゃんちゃんこ」を頭からかぶり、スコップを鉄板がわりにサケを焼いて食べた、という逸話が由来となつています。

29回目となる今回は、千五百食分のチャンチャン焼きを用意。晴天に恵まれた19日の昼過ぎは、空き席を求めて20分以上待つ混雑ぶりで、夕方には用意した分全てが完売しました。

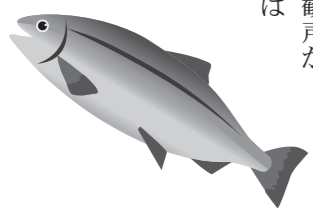
家族で秋田県八峰町から訪れた方に話を伺うと「秋田でのサケの食べ方は、ほとんど塩焼き。味噌で食べるサケは本当に美味しい」と語り、熱々の鉄板の上で焼かれ、味噌だれの絡んだ地元産の野菜とサケを口に運び、満面の笑みを浮かべていました。

今年もイベント
盛りだくさん！

チャンチャン祭りでは、食の提供以外にもたくさんイベントを実施。サケにちなんだものとして、当日朝に水揚げされた鮮度抜群のサケのつかみ捕りや必ずメスサケが当たる大漁引き、青森・秋田両県の観光的県境を決める「国盗りあみ引き合戦」など、気軽に参加して楽しめるイベントが行われました。

また、6月のマグロ料理グランプリでお披露目された深浦マグロボーイズ&バックダンサーズによるダンスパフォーマンスを皮切りに、「風の会」と深中生による北前太鼓の競演や白神黒龍IWASAKIと弘前市の忍者集団神龍(しえんろん)によるヨサコイのコラボなどが実現。ステージ上で生き生きと躍動するパフォーマンスに

あちこちから歓声が送られ、会場は大いに盛り上がりました。



宝くじの助成金で備品を整備しました

平成26年度コミュニティ助成事業に採択された北金ヶ沢自治会、松神地区が、宝くじの助成金で備品を整備しました。

宝くじの社会貢献広報事業としてのコミュニティ助成事業は、今回整備したコミュニティ活動備品のほか、集会施設や地域文化の支援等に対して助成。地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的としています。



◇北金ヶ沢自治会

- ・除雪機 1台
- ・アルミブリッジ 1組
- ・刈払機 3台
- ・チェーンソー 1台



◇松神地区

- ・ミーティングチェア（畳用椅子）100脚
- ・除雪機 1台
- ・アルミブリッジ 1組
- ・刈払機 2台



「十二湖の森」を チップスで快適に!



町の取組状況について耳を傾ける



地区の問題をざっくばらんに語り合う

車座で地域問題を語り合う

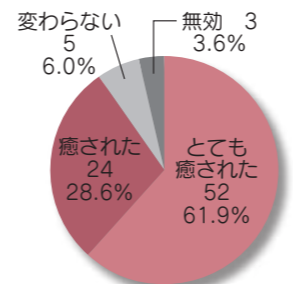
10月15日、町長と一緒に町づくりについて考えるグループミーティングが、柳田農業環境改善センターで行われ、町政の状況や地区の抱える課題について理解を深めました。

今回は、地区老人クラブのやすらぎ会（米谷正実会長）や地域の高齢者32名が参加。吉田町長が若者定住住宅の建設や農業における複合経営の推進、林道の整備などについて講話した後、参加者と車座になって地区の問題を語り合いました。

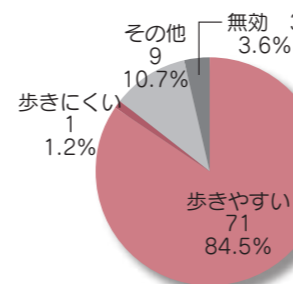
膝を交えた語り合いでは、サル被害やカメムシの発生、医療の状況など、日常生活で感じていることをテーマに懇談。米谷会長からの避難路の整備や築棒沢林道の路線の見直し等の要望に対し、吉田町長は課題の解決に前向きな姿勢を見せていました。

森林セラピー基地 アンケート結果 (7～9月実施)

十二湖散策での「癒し」



ウッドチップ遊歩道



7月に笹内川流域で回収したドロノキやヤナギなどの流倒木をウッドチップに加工した木造高校深浦校舎が、10月31日、森林セラピー基地である「十二湖の森」遊歩道でチップの敷き詰め作業を行いました。

この活動は、流倒木が要因となる土石流の低減と景観回復、さらに地元産樹種の地産地消による生態系維持を学ぶ環境防災学習の一環として、白神山地の生き物を観察する会（浜田哲二代表）が、同校に提案。趣旨に賛同した同校生徒と地元ガイドなど約80名が参加しました。

この日の活動に先立ち、同校生徒が十二湖地内で実施した森林セラピー基地アンケートによると、観光客の90%以上が、十二湖散策で癒しを体感。また、ウッドチップ遊歩道は80%以上の方が歩きやすいと回答しています。

晴天下で行われた作業は、3班に分かれた参加者が235袋

のチップを伸道の池周辺の遊歩道約1kmに敷設。環境に優しく歩きやすい遊歩道でさらなる誘客につなげようと、心地よい汗を流しました。

作業を終えた吉田ひな乃さん（2年）は「白神の木を使ったチップは、歩き心地も快適なので観光客が喜んでくれると思う。たくさん自然にふれて楽しかった」と笑顔で語り、サポートしてきた浜田代表は「白神の循環サイクルを知り、触れることで、生徒たちは見違えるほど生きいきしてきた」と、目を細めていました。

白神の流倒木を再利用する今回の活動は、十二湖の遊歩道の快適性向上のみならず、チップ化によるほのかな香りが、癒し効果につながるものと期待されています。木造高校深浦校舎では、今後も関係機関の協力を得て白神の理解を深め、快適な森づくり活動を続けることとしています。

10/20 助け合い 支え合う社会を目指す

地域の方々に福祉活動への理解と関心を深めてもらい、地域福祉活動に功績のあった方々へ感謝の意を表す町社会福祉協議会主催の第10回社会福祉大会が、フィットネスプラザゆとりで開催されました。

式典では、地域福祉活動に功績のあった方々に表彰状を贈呈。これを受けて、長年にわたって長慶平地区の生活道路の草刈り等を行い、奉仕活動等社会的貢献表彰を受賞した齊藤聡さん（長慶平）が「互いに支え合い、助け合う社会を目指し、福祉の発展に尽くすことを誓います」と、謝辞を述べました。

式典後には、小中学生が祖母への感謝や地域との触れあいについて表した「福祉の作文」を発表。参加者は、子どもたちの日常生活での体験に聞き入り、福祉活動への理解を深めました。

表彰者紹介

- ・ 寡婦50年忌
小山内 フジエ（岩坂）
堀内 シオリ（岩崎上）
- ・ 社協役員等勤続8年以上
兼平 清美（田野沢）
古川 一吉（北金1区）
- ・ 奉仕活動等社会的貢献
齊藤 聡（長慶平）



お礼のことばを述べる齊藤聡さん



日常生活での体験を発表



ブナ苗木を丁寧に植樹

10/22 海の恵みは豊かな森づくりから

豊かな漁場環境を維持する植林活動が白神岳登山口周辺で行われ、漁業者や大戸瀬、岩崎中1年生約80名が、ブナ苗木230本を植樹しました。

参加者は、植樹方法の説明を受けた後、丁寧に植樹。沿岸海域に潤いを与える森林機能について、理解を深めていました。

森と海の関係は、「入前崎集魚林」に代表されるように、先人たちが実践してきたもの。豊かな森からの栄養分に富んだ水がプランクトンを増やし、海の恵みを維持する重要な役割となっています。

10/22 民謡碑建立30周年を祝う

民謡歌手として活躍した故藤田周次郎さん（柳田出身）の歌碑建立から30年が経過したことを受け、岡崎地区の夕陽展望所で記念祭が行われました。

式典には、東京からかけつけた「藤波会後援会」の皆さんや町内関係者など47名が参加。民謡の普及に努めた故人の輝かしい功績を偲び、玉串を捧げました。

式典後は二代目藤田周次郎さんを囲む会を開催。参加者は、先代が作詞作曲した深浦囃子などを唄い、思い出話に花を咲かせていました。



初代との思い出を語る藤田周次郎さん



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2113

まちかど ウォッチング

10/12 白球を追って和やかに交流

適度な運動を通して地域同士の交流を図る400歳健康ソフトボール大会が、八森山野球場で行われました。

本大会は、出場選手の合計年齢が400歳以上というユニークなルールを採用。老若男女がスポーツで交流できるよう工夫されています。

4地区が参加した大会は、接戦を勝ち上がった岡町町内会と打撃力が持ち味の12区の対戦。同点で迎えた最終回にサヨナラ2ランが飛び出し、岡町町内会が8対6でシーソーゲームを制しました。



高く上がった打球はヒット？アウト？



女性目線での計画策定に向け委嘱状を交付

10/15 10年後の町の将来を描く

町村合併時に策定した総合計画が平成27年3月で満了することを受け、まちづくりの最上位の指針となる「第二次総合計画」策定審議会が、町民文化ホールで行われました。

総合計画は、今後10年間のまちづくり、行政運営の指針となり、今回は子育てや少子化対策など、女性目線での計画が盛り込まれています。

委嘱状を受け取った審議会委員は、さっそく基本構想等について審議。町では数回の審議会を経て、新しい総合計画を策定することとしています。

10/21 世代を超えて農業を語る

町の農業問題について考える農業委員会主催の意見交換会が、町民文化ホールで開催されました。

認定農業者や若手農家、農業委員など世代を超えた31名が参加した同会では、若手農家から出された米価の下落やサル被害の増加などの問題に対し、ベテラン農家や農業関係者が、解決に向けたアドバイスを送りました。

稲作、畑作、畜産と多様な業種が参加した意見交換会。農業委員会では、今後も意見交換会を開き、情報共有を図ることとしています。



若手農業者へアドバイスを送る

ふかうら いいね!👍

Good Job! Fukaura

●●島 成人さん●●

(関：30歳)

高齢化等により従事者が減っている農業。その影響で耕作放棄地やサル被害の増加が問題になる中、新たに農業に挑戦しようという担い手も現れています。今回は、昨年からの露地ねぎ栽培を始めた島さんにお話を伺いました。



身体を動かし自然と触れ合う

出荷量全国1位のにんにく、ながいも、ごぼうなどを始め、青森県は多数の野菜が栽培されている野菜王国。あまり知られていないかもしれませんが、島さんが挑んでいるねぎは、全国第7位の出荷量を誇り、全国的に上々の評価を得ています。

島さんが農業を始めたのは、自然と触れ合えることがきっかけ。県外での仕事を辞めて深浦に帰って地元の素晴らしさを感じた島さんは、農家の手伝いをしていくうちに、自然を相手にする農業の魅力に魅せられていきました。

もともと体を動かすことが好きなこともあり、新規就農への思いを強くした島さんですが、家庭菜園程度しか農業経験がないため、家族は就農に反対。それでも、農業法人へ出向いて様々な野菜作りや農業経営について研修し、栽培技術の習得に打ち込む島さんを見て、家族も協力を快諾してくれました。そして、関係者の協力を得て昨年借り受けた農地33aに露地ねぎを作付、晴れて新規就農者の仲間入りを果たしました。

2年目の今年は、60aの農地で露地ねぎを栽培、約4



サイズ別で仕分けたねぎをテープで結束

千箱（5kg入り）の出荷を見込んでおり、さらに新しい品目として、収穫時期の重ならないアスパラガス栽培にも取り組んでいます。

仲間がいるから頑張れる

研修先でねぎに関わっていたこともあり、ある程度の知識を持って栽培を始めた島さんですが、現実にはそう甘くはありませんでした。就農の際に予定していた作業用のパイプハウスや根切り機、コンプレッサー等の設備投資に加えて、土地改良や様々な細かい資材の購入による予想外の経費が発生。さらに、せっかく作ったねぎの一部に病気が発生、1年目は赤字計上となってしまいました。

その中で明るい光となったのが、産直施設等への出荷。少し曲った規格外のねぎなどを産直施設に出し、廃棄ロスを減らすとともに収入を増やすことができました。規格の揃った商品を市場に出荷することは当然ながら、自ら価格を決めることができる産直施設へ出荷、売れることを実感した島さんは「販路拡大の必要性」を認識しています。

そうはいつてもまだ就農2年目。「栽培自体は順調に進んでいるものの、除草や病害虫防除、新たな設備投資など問題はたくさんある」と、島さんは感じています。その時に救いとなるのが、町内で新規就農した仲間たち。トマトや水稲など扱う品目は様々ですが、栽培方法の見学や情報交換、時には悩み相談を行い、心が休まる場の確保と農作業の新しい発見につながっています。

今後の抱負について「まずは技術を向上させ、効率よく作業すること。それが規模拡大にもつながる。経営の柱となる品目をしっかり育てたい」と、和やかな表情で語ってくれた島さん。農業で生活を始めた仲間とともに、町の新たな担い手として、今後の展開に期待が寄せられています。

歯を大切に



むし歯ゼロの子 大集合

10月に行われた3歳児健診で、むし歯がなかった子どもたちを紹介します。



(鷹木) 吉田 たまき 希さん



(風合瀬) 新岡 慎三郎 くん



(北金1区) 山崎 遥 杜 くん



(北金3区) 阪崎 エレナ さん



(柳田) 猿川 鉄心 くん



(岩崎下) 菅原 リナ さん

むし歯予防の豆知識

生まれたばかりの時、母乳を飲むため赤ちゃんの呼吸は鼻呼吸が中心です。しかし、言葉を発する頃や離乳食が始まる頃、また鼻の病気などで口呼吸することを覚えます。口で呼吸するほうが、空気を多く取り込み楽なことから徐々に口呼吸の習慣が多くなります。口呼吸になると口からごみ、細菌が侵入し、加湿加温のない空気が肺に入り込み肺に負担がかかります。口の中への影響は、口の中が乾燥して唾液の働きが悪くなり、歯に汚れが付きやすくなるため、前歯のむし歯が増えるだけでなく幼児でも歯肉炎をおこし、歯ブラシをあてただけで歯ぐきから出血する場合があります。子どもが普段テレビを見ている時などポカンと口を開けていたら、口を閉じて鼻で呼吸するよう注意しましょう。

大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

ご用命は
任せて安心の

厚生労働省認定

1級葬祭ディレクター在籍店



株式会社 深浦葬祭

Fukaura Funeral Service

電話 (74) 4536

FAX: 74-4546

募集
従業員

家族葬から一般葬・社葬まで
ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車です!
「一般貨物自動車運送事業(霊柩)第497号」
365日・24時間受け付けております。

ウェスパ WeSpa 椿山 11月から営業時間が
変わりました。

11/4(火曜)から下記のとおり営業時間が変わりました。

展望温泉...7:00~21:00(第2、第4火曜17時から営業)

物産館...9:00~17:00

ガラス工房...9:00~17:00(毎週火曜定休)



そのほか最新情報はウェスパ椿山公式
facebookページにて随時更新中!
<https://www.facebook.com/wespasubakiyama>

ウェスパ WeSpa 椿山

1日1組様限定!
カラオケサービス付!

今年もやります!
2時間飲み放題込み
お一人様3,500円から!

ご予算があがることにお料理もグレードアップ!

ご予約
お問合せは レストランカミリア 75-2131
(受付時間 11:00~20:30)

アジサイロードで植栽活動

西海岸地区環境公共推進協議会では、毎年風合瀬自治会と協力しながら「アジサイロード」の愛称で親しまれている風合瀬〜晴山間の広域農道沿いで、あじさいの植栽活動を実施しています。

今夏も約30名の方が参加して植栽を実施。講師に環境公共プロフェッショナルを招き、2時間かけて剪定や苗の補植を行いました。来年もきれいなあじさいを楽しんでいただけたと思いますので、ぜひお近くにお越しの際はお立ち寄りください。



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター 中村謙弥先生
西北五医師会 会長
中村内科医院 院長



ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症

私は、小児を診ておりませんが、お母さんなど、ご家族、また、保育園、幼稚園の先生などから、子供さんが、「ヒトメタニューモウイルス感染症」だと、言われたとお聞きするようになりました。

そこで、私自身のメモ書きのためにも、ごく簡単にまとめてみました。まずは、大事なことだけ、以下のごとく、箇条書き：

- 1) ヒトメタニューモウイルス（以下、hMPV）は、2001年に、オランダの医師グループにより発見された、呼吸器感染症の原因ウイルスである。
- 2) ただし、発見されたと言っても、新しく出現したウイルスではなく、少なくとも、50年以上前から、存在するウイルス。
- 3) 5歳頃までに、ほぼ全員が感染すると言われている。
- 4) 一回の感染では、免疫を獲得することが低く、何度か再感染を繰り返す、成長するにつれ、免疫力がつき症状が軽くなる。
- 5) 通常の上気道炎（感冒）から重症の気管支炎・肺炎まで起こしうる感染症である。
- 6) 小児の下気道炎（気管支炎・肺炎）の原因ウイルスとしてRSウイルスに次いで頻度が高い。

臨床的特徴

- ・1年中、発症が見られる感染症ではあるが、とくに、3～6月頃（春先から梅雨の時期）に、感染者数の増加が見られる。
- ・潜伏期は、およそ4-5日である。
- ・咳嗽が、主な症状であり、ほぼ、100%にみられる。しかも、発熱の前に見られることが多い。
- ・発熱が、5日間以上持続する場合は、下気道炎（気管支炎、肺炎）の可能性が高い。
- ・1～2歳児で下気道炎の合併率が高い→重症化の可能性

があり。
・集団感染を起こすことがある（保育園、幼稚園、高齢者福祉施設などに）。ちなみに、その他、集団感染を起こしうる呼吸器感染症として、インフルエンザウイルス、RSウイルス、マイコプラズマなどもある。

迅速診断キット（チェックhMPV：当該ウイルス感染症が疑われる6歳未満の患者であって、画像診断により肺炎が強く疑われる患者を対象として保険適用）により、鼻咽頭拭い液中の、hMPV抗原を検出し、他の疾患との鑑別や、疾患自体への早期の対処に有用とされています。

治療

ウイルス感染症であり、基本は、十分な水分補給、咳、鼻汁、発熱を軽減させるための対症療法です。ただし、二次的に細菌感染症を起こしてしまう場合もあり、その際は、抗菌薬も必要となります。およそ、発熱が4日以上、持続する場合は、細菌による気管支炎、肺炎、中耳炎などを起こしている可能性も考えます。

感染

咳やくしゃみなどによる飛沫感染、気づかずウイルスに触れてしまうことによる接触感染の、両方による感染があるので、手洗い、うがいを徹底します。保育園、幼稚園、小学校での集団感染、さらには、家族内（兄弟、両親、祖父母）での感染に注意が必要となります。

以上、hMPV感染症は、決してまれな疾患ではなく、昔からある、小児主体の集団感染する気道の感染症です。しかし、通常の、咳、発熱主体の感冒症状のみならず、肺炎などへ進展し重症化する症例もあります。さらに、免疫力の低下した成人、高齢者での集団感染、発症もみられることがあり、注意が必要です。

ふかうら学

教育課社会教育係の社会教育推進に向けた事業について紹介します。

目的：次代を切り拓くたくましさ豊かな心をもつ青少年を育成するための各種体験活動の充実、環境整備
施策：青少年に参加を促しながら、自然体験活動、社会参加活動の内容の充実を図る。

「第2次深浦町中期社会教育計画」より抜粋

小学生「生きる力」育成研修会って何？ アドベンチャーキャンプ夏編(7月)・秋編(9月)!

子どもたちが現代の便利な日常生活から離れ、自然の中で共同生活を行うことにより、自主性や協調性を養い、たくましく「生きる力」を身につけることを目的に取り組んでいます。

- キャンセル待ちがでるほど、子どもたちに大人気の事業です。
- 「共通プログラム」・JR五能線列車乗車体験 ・テント設営及び撤去
- ・サバイバル炊飯(空き缶加工) ・バケツプリンづくり
- 「夏編」・丸太イカダづくり及びレース ・五右衛門風呂体験
- ・流しそうめん体験など
- 「秋編」・秋の味覚採集(タコ採り) ・サバイバルタコ飯 ・カヌー体験など
- ※自然豊かな深浦町を存分に満喫し、もっともっと「ふるさとふかうら」を好きになってもらいたい。普段なかなか体験できないことを体験する。楽しくてワクワクする事業です。(久々の列車乗車は最高!)



6艘による自作丸太イカダレース。着順によって流しそうめんの食べる位置が決定!

目的：異世代交流の充実

施策：行事(事業・イベント)などを通して、青少年、成人、高齢者の交流の場づくりを図る。

「第2次深浦町中期社会教育計画」より抜粋

秋の軽スポーツフェスティバル!

子どもから高齢者までの世代間交流と健康増進を目的に秋の軽スポーツフェスティバルを10月11日(土)町民体育館で開催し、子どもから高齢者まで40名が競技を楽しみました。

誰でも気軽に参加できる軽スポーツを通じて家族のコミュニティと世代間交流を図ることを目的としています。

- 「競技内容」(気軽に参加できる軽スポーツ)
- ・ストラックアウト ・スカットボール ・PKの当て
 - ・ソフトバレーボール(小学生・一般)

※用具は貸出できますので、気軽に電話ください。
教育課社会教育係 74-4419
(自治会や子ども会などのレクリエーションで活用してはどうですか。結構盛り上がりそうです!)

「協力団体」(準備運動、各種目の説明や指導)

町スポーツ推進委員、岩崎ノナクラブ(ソフトバレーボール)、ゲートボールクラブ(町体育協会)



スカットボール競技
ゲートボールクラブの指導を受けながら競技に参加。「5点に入れ!」

7日間試用OK ウィンドウズ7ノートパソコンお安く譲ります

大企業で新たな機器入れ替えのためお譲りできます。一般のご家庭で有効活用頂く活動です。

ワープロ・表計算・プレゼンソフト 2013年版付 ウィンドウズ7正規認証済み
初心者向けパソコンレッスンビデオ付 ウィルス対策セキュリティ付
年賀状ソフト付 DVD-CD視聴可
麻雀・将棋・囲碁ゲーム付

1週間試用して、ご不満の場合は
全額ご返金(返品送料ご本人負担)
お申し込み・お問い合わせ
TEL 052-380-9211
月曜～金曜(9時～18時)
Email info@forincs.com
Eメールでもお申し込み頂けます。

東芝 15.4型(6ヶ月の機器保証)
CPU :celeron(2.00GHz)メモリ:2GB
HDD :160GB DVD-マルチ
一台当り29,000円(税込、送料込み)

メモリ3ギガ、4ギガ高規格機種ご希望の方はお問い合わせ下さい。
非営利団体法人(NPO)には、マイクロソフトオフィス Home and Business
2010村 一台当り35,000円にてご用意があります。

Microsoft REGISTERED Refurbisher

肩こり・腰痛・筋肉のほぐし他

カイロプラクティック施術(全身) ¥3,000
お試し15分(骨盤調整) ¥1,000
フェイシャルケアコース ¥5,000

<健康グッズを取り扱っています> ご相談ください!
布団、枕、骨盤保護パンツ、健康補助食品(サプリ)、化粧品・・・etc

カイロプラクティック院 らっきー

深浦町大字風合瀬字大磯135(2階) 上晴山バス停隣

【問合せ】080-6042-7173(山下)/不定休

たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185-89-2666

http://www.takekuma-vet.com/

30分前まで受付時間は終了の

入院施設有
往診快諾

- ペットホテル・トリミング有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査・健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

MEGA すき家 寿司 ITOKU ホーマック
TUTAYA ホテルナミ ぐすりの大越 ちえ美容室
四小入口 ももデンタルクリニック 第四小学校
たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL ローション

深校だより

平成26年度 深浦校舎文化祭

10月25日・26日、今年度の深校祭は「深校旋風 school revolution」というテーマのもと、大盛況のうちに終わることができました。
25日には、JR深浦駅をスタートに、夕陽公園→青森銀行前→兵藤クリーニング店前、風待ち館前というルートでよさこいを踊りながらパレードを行いました。そして、日頃練習を重ねた踊りを町内の皆様にごらんいただきました。
また、26日の一般公開には、ふるさと研修のまとめや授業で作成した作品の展示、縁日、模擬店に、たくさんの方々においでいただきました。保護者の方々にも御協力いただき、食堂でカレーやうどんなどをおいしくいただくことができました。本当にありがとうございました。
来年度もこれまでの伝統を引継ぎながら、より一層楽しめる文化祭にしていこうと考えています。ご期待ください。



まぐろピザに挑戦

深校祭では、3年次生がまぐろピザづくりにチャ

11・12月の行事予定

- 11月21日(金) 環境教育講座(1年次)
- 25日(火)~28日(金) 2年次2学期期末考査
- 12月1日(月)~5日(金) 2年次修学旅行
- 5日(金) 1年次、ガラス工房体験学習

レンジしました。
この企画は、以前本校で講演をしていただいた老不死温泉社長の西崎朋さんの発案、材料提供で実現しました。
クラスでは、何を作るかで様々な意見があがったようですが、玉熊奈々さんが提案した「まぐろピザ」を作ることにしました。

このピザは、生地にギョウザの皮を使っています。試作をしてみても、具をのせると、この皮が水分を吸ってしんなりしてしまうため、その改善に試行錯誤しました。また、まぐろの存在感を出すために、切るときの薄さにこだわったり、ピザソースの量を減らしたりと、様々な工夫をこらしました。
試食には、西崎さんと老不死温泉の料理人さんもかけつけてくださり、ピザソース味とカレー味の2種類を提供してはどうかなどの、アドバイスをいただきました。
製作責任者の玉熊さんは「自分たちで0のところからアイデアを出し、仲間と話し合いながら完成させていく過程がとても楽しかった。このような機会を持って本当に良かった」と話していました。あっさり味で食べやすく、まぐろや生地の皮の食感が活かされたおいしいピザに仕上がりました。

町民文化祭

新米を研ぐ指先に秋うらら
新茶注ぐ朝の一杯きょうと決め
何もかもプラス志向のプロマイド
叱られた記憶背負って赤とんぼ
イソツブの森でみつけた新天地
骨となる月の砂漠の旅をする
一片の骨にかつての母がいる
反骨のこぶしは今も隠し持つ

川柳

- 乳井 光 照
- 後藤 信 柳
- 古川 博 子
- 佐々木 かもめ
- 草野 力 丸
- 蒲田 磨 砂
- 山野 茶花子
- 浜町 闊 歩

編集後記

広報取材は、平日に限らず土日でもよく出かけます、イベント等が行われることが多いのですが、学校行事等と重なることもたまにあります。
できる限り取材できるよう調整しますが、我が家で大きなウエイトを占める運動会と学習発表会だけは、かかさず見に行くようにしています。
先日行われた次女の学習発表会のテーマは、公園のポイ捨て。ゴミ拾いの1週間後にまたゴミが捨てられていたことを目にし、子どもたちが感じたことを発表しました。
ゴミについてよく考えているな、ポイ捨てはダメだなと感心したものの、次女の部屋には、散らかったゴミがちらほら。これからは、きれいに片付けてくれるものと期待しています。

大卒の宿 ふかろう文学館

今月の一冊

マンドラゴラの育て方が分かります。
『鉢植えでも楽しめる
物語と伝説の植物
四〇種の栽培ガイド』

棟原 昭矢/著
新紀元社/発行

このコーナーでは、大卒の宿ふかろう文学館がお薦めする書籍を紹介しています。

キジムナーの宿るガジユマル、シヤロクック・ホームズが褒め称えたバラ、ブツダがその下で悟りを得たインドボダイジュ、『星の王子さま』に登場する巨大なバオバブの木……

私たちの周りには、紹介されている植物の中には、様々な植物が登場します。この本では、その植物の由来や育て方を、古今東西のお話と一緒に紹介しています。『ハリー・ポッターと秘密の部屋』に出てくるマンドラゴラをはじめ、一度は耳にしたことのある植物が、カラー写真付きで多数取り上げられています。



著者によると、紹介されている植物は比較的育てやすいものばかりであり、マンドラゴラは夏に休眠するという珍しい特徴を持ってはいても、特に他の植物に比べて育てにくいということはないそうです。
この本との出会いを機に、お話の中に出てくる植物を、実際に育ててみませんか？

戸籍の窓

8月21日~9月20日までの戸籍届出

お誕生おめでとう

- 世永 希 翠 (翼) 北金3区
- 菅原 快人 (貴洋) 岩崎下

ご結婚おめでとう

- 藤田 賢太郎 (岩坂)
- 須藤 汐子 (岩崎下)

おくやみ申し上げます

- 熊谷 明 (79歳) 横磯
- 佐藤 瑞雄 (86歳) 横磯
- 長島 誠一 (82歳) 5区
- 鳴海 きせ (81歳) 崎の町
- 山本 いわ (87歳) 崎の町
- 石沢 文一 (59歳) 塩見崎
- 佐藤 武男 (93歳) 轟木
- 小野 ミヨ (88歳) 晴山
- 長谷川 しな (78歳) 北金3区
- 木村 壽加 (93歳) 関
- 川村 せい (90歳) 正久
- 松橋 ミヤ (82歳) 大間越

深浦町の人口と世帯

(10月末日現在)()内は前月比

- 男 …… 4,343人 (-10)
 - 女 …… 4,869人 (-15)
 - 計 …… 9,212人 (-25)
 - 世帯数 3,895世帯 (-2)
- 深浦町の総面積 488.86km²



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

青い鳥保育園のなかよしたち
対人関係を育むために…

「私の気持ち」

(上段左から)

たてぐち りんさん (6さい)
やまざき そうたくん (5さい)
にしざき かのさん (6さい)

(下段左から)

うらやかり んさん (5さい)
あぶかわり とくん (5さい)
くしびき りいとくん (5さい)
えむらに こさん (5さい)



深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■樺■

深浦町の鳥



■カモメ■

子どもたちの安全な通学を支える

10月10日、青森県トラック協会西北五支部の小寺雅巳事務局長が教育委員会を訪れ、子どもたちの安全な通学に役立ててくださると、交通安全指導旗と旗入れ缶を寄贈しました。

同支部では、毎年10月9日を「トラックの日」と題し、交通安全旗等寄贈等のキャンペーンを実施しており、町内3小学校へ贈られた指導旗は、児童たちの通学路の安全確保に利用する予定となっております。

ありがとうございました。



みんなに 元気 です!

このコーナーでは、1歳を迎えたチビッコ達をご紹介します



さとか 惺華ちゃん
岩村 (父 孝さん) 12区
(母 良子さん)



そうた 長谷川総汰ちゃん
(父 直人さん) 北金3区
(母 美沙子さん)



しゅうと 笹森柁斗ちゃん
(父 淳也さん) 沢辺
(母 静香さん)